

## 令和7年度 広島県まち・ひと・しごと創生総合戦略外部評価会議

(令和7年10月30日開催)

項目	主な意見
子供・子育てについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育士を確保していくことは重要だが、0歳～4歳の人口が減っている中では今後の保育士数を一人当たりのカバー率等でも見ていく必要があるのではないか。</li> </ul>
観光について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島県の観光消費単価について、特に外国人一人当たりの単価が宿泊日数を考慮しても低い。新たな土産物なども含め、今後検討の必要があるのではないか。</li> <li>○ 観光の取組を学校等と連携し行うことで、県外から来た学生たちも、広島県の魅力を自分たちで研究し理解していくことができ、より広島を知り発信していくことができるようになるのではないか。</li> </ul>
発達障害の方たちへの支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発達障害の方たちの就職後のケアがなく、学校などで継続的に相談・支援ができるような、心のよりどころになるフォローアップをしてもらえる環境づくりが重要ではないか。</li> <li>○ 発達障害の方たちの就職に対する支援は、他県でもあまり行われていないと思うので、広島県が率先して取り組まれてもよいのではないか。</li> </ul>
若年層の県内就職について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学生の多くは民間の就職情報サイトを使い就職活動を行っていることから、こうした学生が日常的にアクセスするサイトをいかに利用していくかということを考える必要があるのではないか。</li> <li>○ 学生が就職活動する中で、福利厚生に対して高い関心がある。広島県内の企業をアピールする際には、企業側がアピールしたいことと、学生が魅力に感じること・知りたいことにギャップがないかを確認する必要がある。</li> </ul>
平和について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 核兵器廃絶に向けた世界的な行動を推進するためのプラットフォームに参画する企業・団体等の数が目標に届いていない原因の分析が必要ではないか。また、プラットフォームを今後どのように維持発展させていくか検討する必要がある。</li> </ul>
農林水産業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の農家や特産物にクローズアップするなど、各地域の取組にスポットを当て、発展させることを検討する必要があるのではないか。</li> </ul>
今後の視点について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 従来のデジタル化等への取組が変わってきていること、日本の技術・技能が見直されていること等を踏まえると、今後様々な事業について検討を行っていく上での視点の1つとして、デジタルプラスアナログというのも重要ではないか。</li> </ul>